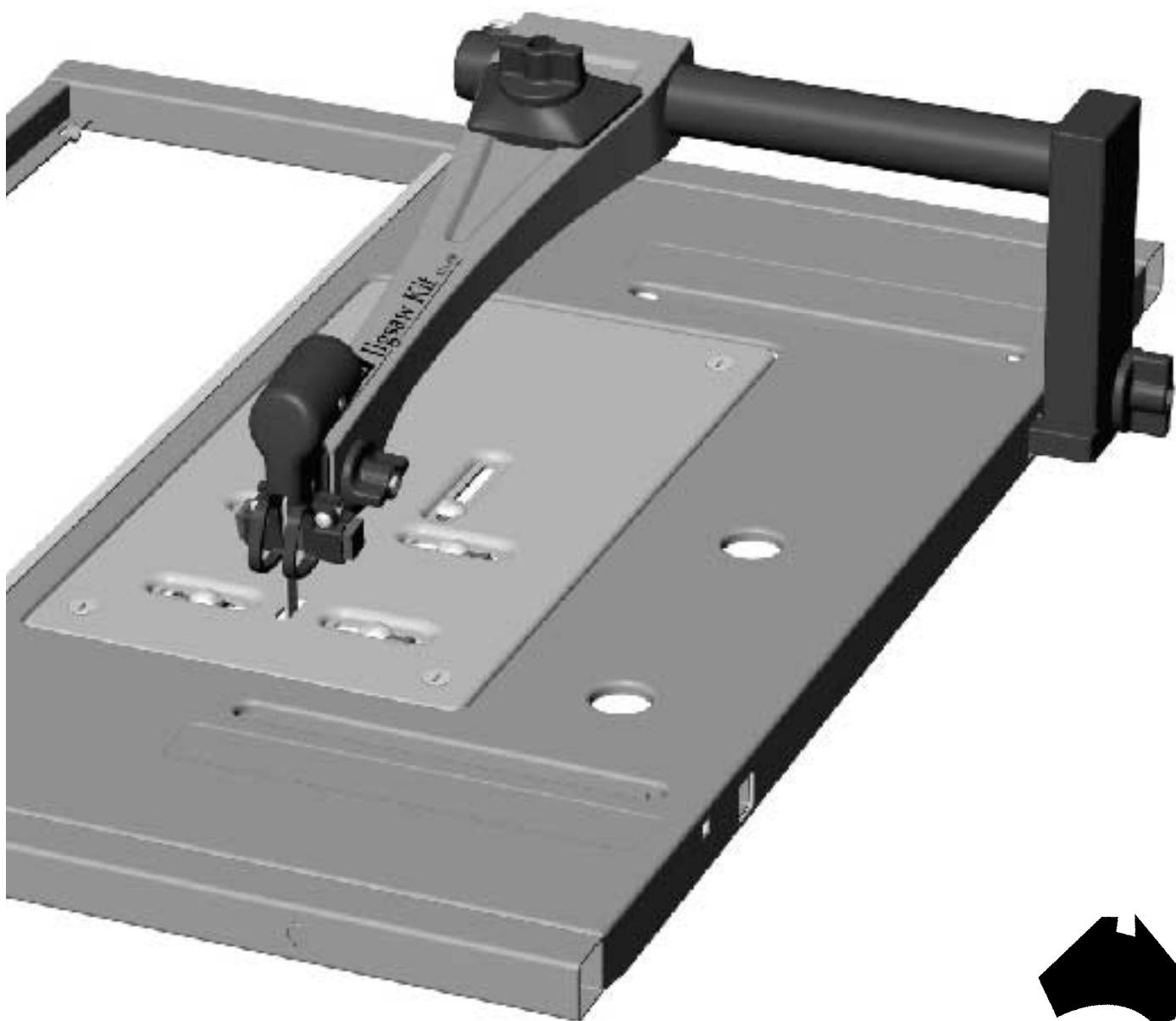


triton ジグソーキット AJJ300

組み立て&取り扱い説明書



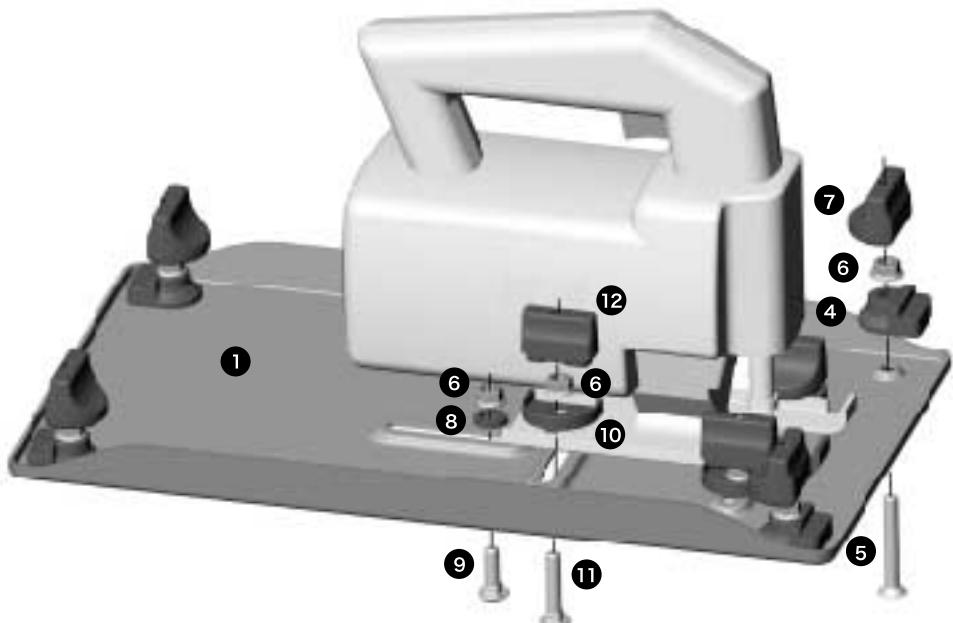
Made in Australia

⚠ 警告

ご使用の前に必ずこの組み立て&取り扱い説明書を良くお読みになり、製品について十分ご理解の上で、正しくご使用ください。

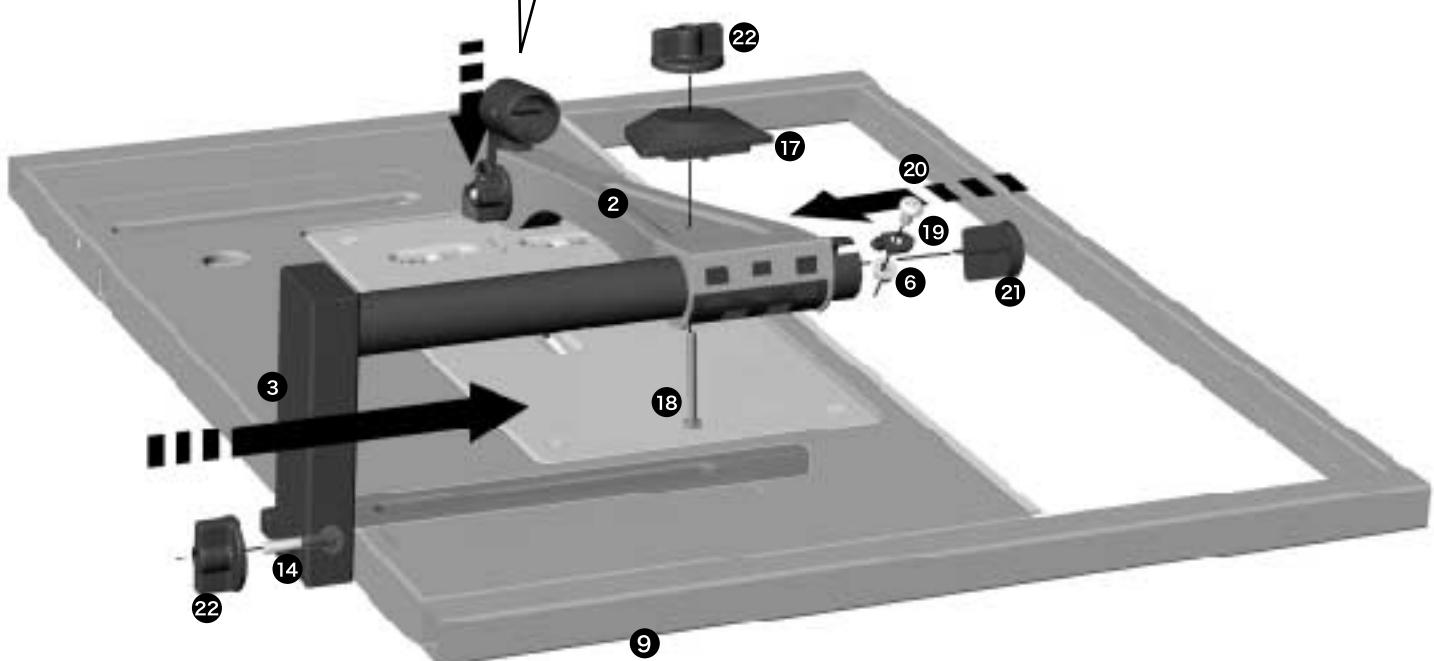
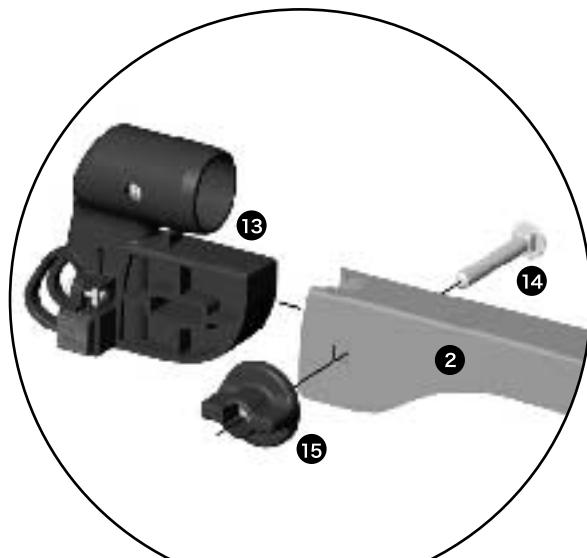
このジグソーキットはトリトルーターテーブル(RTJ300)に取りつけて使用します。他のモデルには使用できません。お持ちのジグソーをセットし、安全、快適に高精度な加工がおこなえます。

必要な工具: プラスドライバー、10mmスパナ、直角定規



パーツリスト

ジグソープレート	(1)	①
オーバーヘッドアーム	(1)	②
サポートアーム	(1)	③
小物部品袋1(ジグソープレート部品)		
プレートクランプベース	(4)	④
M6×45皿ネジ	(4)	⑤
M6フランジナット	(9)	⑥
プレートクランプノブ(平底)	(4)	⑦
バックストップ	(1)	⑧
M6×20コーチボルト	(1)	⑨
クランプベース	(4)	⑩
M6×40コーチボルト	(4)	⑪
クランプノブ(くぼみ底)	(4)	⑫
小物部品袋2(サポートアーム部品)		
ブレードガード	(1)	⑬
M6×40コーチボルト	(2)	⑭
ラウンドノブ(小)	(1)	⑮
ブリッジ	(1)	⑯
M6×55ボルト	(1)	⑰
アームロケーター	(1)	⑲
M6×10ネジ	(1)	⑳
M6フランジナット	(1)	㉑
チューブプラグ	(1)	㉒
ラウンドノブ(大)	(2)	㉓



組み立て(2ページの図を参照)

ステップ1

プレートクランプベース(4)をM6×45皿ネジ、M6フランジナット(6)を用いてジグソープレート(1)に取りつけます。まだ締めないでください。

ジグソープレートを、クランプを下向きにルーターテーブルにセットします。プレートの溝が手前(スイッチボックス側)に向くよう注意してください。ジグソープレートのガタをなくすため、クランプベースを外側に押しつけながらドライバーでネジを締めて固定します。

プレートクランプノブ(7)を締め込んでジグソープレートをテーブルに固定します。

※ポイント: 4つのクランプノブの平な面を外に向けると、ジグソープレートを取り外すことができます。半回転締めつけるとジグソープレートはテーブルに固定されます。

ステップ2

クランプノブをゆるめ、ジグソープレートを上下反転して(クランプを上に向け)テーブルに置きます。

ジグソーを取りつける前に、刃がベースプレートに対して直角であるか定規で確認します。

ジグソーの刃をジグソープレートの中央の溝に差し込み、ほぼ中心に来るようにして置きます。ベースプレートとジグソープレートの縁がほぼ平行になるようにしてください。

バックストップ(8)を後の溝にM6×20コーチボルト(9)とフランジナット(6)を用いて取りつけます。バックストップをジグソーのベースプレートに当てて締めつけます。

クランプベース(10)の平らな縁をジグソーのベースプレートに当てながら、M6×40コーチボルト(11)とM6フランジナット(6)を用いてそれぞれ締めつけます。

クランプノブ(12)を締め込み、ベースプレートを押さえて固定します。

※ポイント: 4つのクランプノブの平な面を外に向けると、ジグソーを取り外すことができます。半回転締めつけるとジグソープレートはテーブルに固定されます。ジグソープレートを取り外して反転し、ノコ刃を上に向けてテーブルにセットします。

ステップ3

ブレードガード(13)をオーバーヘッドアーム(2)に差し込み、M6×40コーチボルト(14)、ラウンドノブ小(15)を用いて取りつけます。

ステップ4

M6×40コーチボルト(14)をルーターテーブル裏の内側から差し込み、サポートアーム(3)を取りつけます。ラウンドノブ大(22)で締めて固定します。

オーバーヘッドアームをサポートアームに差し込みます。アームを持ち上げ、ブリッジ(17)をM6×55ボルト(18)、ラウンドノブ大(22)を用いて取りつけます。

ジグソーの刃がブレードガードの中心に来るようアームの位置を調整します。ノブを締め、アームを固定します。

※注意: 長期間使用しないときは、締めつけ部の疲労を防ぐため、ノブをゆるめておきます。

ステップ5

アームロケーター(19)をサポートアームに差し込みます。この時、アームロケーターの爪をアームの内側に差し込んでください。M6×10ネジ(20)、フランジナット(6)を用いてアームロケーターを締めて固定します。

チューブプラグ(21)をサポートアーム(3)に差し込んで蓋をします。

ブレードガードのノブをゆるめて前後に動かし、ジグソーの刃が、ガードについている木製ガイドブロックよりわずか前方にのぞくよう位置を調整してノブを締めます。(図1参照)

ガイドブロックを締めているネジをゆるめて、左右のガイドブロックをノコ刃より僅かに離してセットしネジを締めます。(図2参照)

長時間使ってガイドブロックが磨り減った場合、ブロックの位置を再度調整してください。ガイドブロックが消耗して使えなくなった場合、販売元から購入するか、木目の通った木で自作してください。

集じんについて

ジグソーキットにお手持ちの集じん機をつなぐと、加工材上に出てくるノコ屑を集じんするため、切断ラインが良く見え、細かい塵が空中に舞うのを防ぎます。

ルーターテーブル付属のバキュームホースをブレードガード後方のポートに差し込み、ホースのもう一方を集じん機のホースに差し込みます。家庭用掃除機を使用する場合は、オプションのダストコレクター(DCJ300)を併用することをお勧めします。

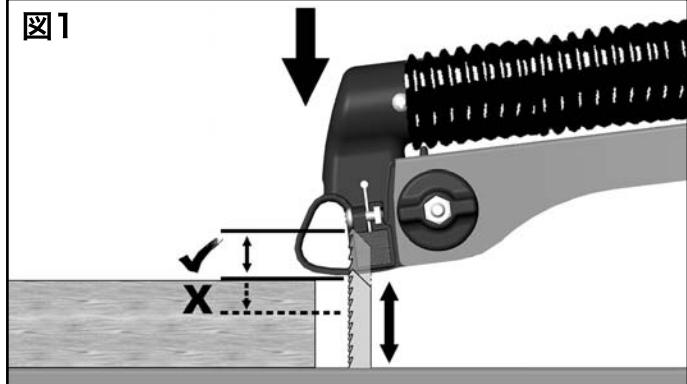
ジグソーの選択のポイント

- 切断能力が大きいほど厚い加工材にも対応できます。(最低でも50以上)
- 可变速コントローラーがついていれば様々な材料に対応できます。
- ノコ刃の後にガイドローラーのついたタイプはノコ刃のブレを最小限にとどめます。
- 傾斜調整できるタイプはジグソーを手持ちで作業する際に角度切りがおこなえます。
- オービタル機構を備えた物はジグソーを手持ちで作業する際に厚い材でもスピーディーな切断がおこなえます。但し、ジグソーキットではこの機構は使用できません。必ずオービタル機構のスイッチを切っておこなってください。

⚠ 安全と作業上の注意

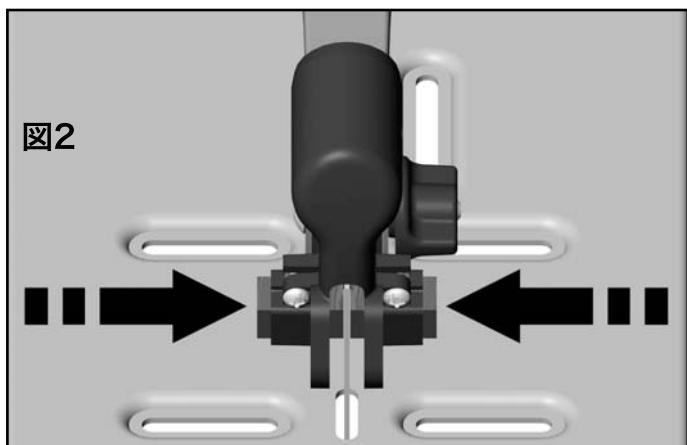
- あらゆる調整の時にはジグソーのプラグを電源から抜いておこなってください。
- 電動工具を使用するときは、必ず保護メガネを使用してください。また、防塵マスク、耳栓を使用することをお勧めします。
- だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は着用しないでください。長い髪は後ろに束ねてください。
- オーバーヘッドアームの高さを加工材に正しく合わせて作業をおこなってください。(図1参照)

図1



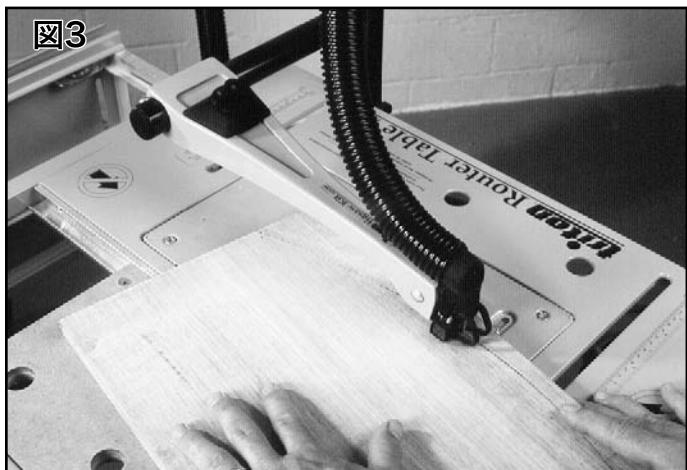
- オーバーヘッドアームのクランプを締め過ぎないでください。使用中に万が一、ノコ刃がアームを突き上げた時、上に持ちあがるようにすることでノコ刃が折れるのを防ぎます。
- 材料をセットする際、ジグソーのストローク最下部で、ガイドブロックからノコ刃が外れることなく、少なくとも1つ以上の刃が材料より突き出していることを確認してください。(図1参照) そうでないと、ノコ刃を折ってしまうか、アームが突かれて上に持ちあがります。

図2



- 時々、ノコ刃がブレードガードの中心にあるか、ガイドブロックが正しく調整できているか確認してください。(図2参照)
- 作業中は、絶対に手をノコ刃に近づけないでください。
- オーバーヘッドアームは、常に正しく調整して使用してください。
- ノコ刃が材料から離れているのを確認してスイッチを入れてください。

図3



- 作業中はテーブルの上に物を置かないでください。振動でノコ刃に巻き込まれ危険です。
- 木目にそって切る場合は特に、加工材をゆっくりと前方に送っていきます。(図3参照) 曲線がきついか、送るスピードが速すぎると摩擦熱により切断面に焦げ跡がつきます。ノコ刃が鈍らになり刃の寿命を縮める原因になります。
- 加工材を手でしっかりとテーブルに押さえつけながら、スムーズにノコ刃に通していきます。
- 切断の途中で止める場合は、加工材をしっかりと押さえて固定したまま膝でスイッチを切り、ノコ刃が完全に止まるのを待ってください。
- 強い曲線を無理に切断しないでください。この場合、刃に負荷をかけないように数回にわたり徐々に少しづつ削って溝を広げておこないます。
- ジグソーの刃は、用途に応じていくつかの種類があります。作業内容に合った刃を選択してください。強い曲線を切り出す場合は、幅のせまい刃が適します。
- 定期的に全てのネジにゆるみがないか確認してください。
- 作業を終えたら必ずプラグを電源から抜いて、ジグソーのスイッチを戻してください。

改良のためこの製品の機能および形状は予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

triton
Manufactured by Triton

Triton社 日本輸入販売総代理店

株式会社 リーベ

千葉県船橋市前原西2-17-12 DOGO津田沼ビル

<http://www.triton-japan.com>